

総合的技術力の習得を

沖縄県土木建築部

部長 銘苅清一



具志次長代読

沖縄県設備設計事務所協会及び社団法人建

築設備技術者協会九州支部沖縄会共催による設備懇親会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ご参加の会員の皆様におかれましては、平素から本県の土木建築行政の円滑な推進に多大な御協力を賜り深く感謝申し上げます。

また、本日開催されました貴協会の平成12年度通常総会におきましては、諸議案等について御審議を尽くされ滞りなく終了されましたことをお喜び申し上げます。

ご承知のとおり、近年の目覚ましい技術革新、産業構造の変化等を背景として、国際化社会、情報化社会、高齢化社会への急速な移行により、建築物は、大型化、複雑化、多様化しており、それに伴う建築設備の技術も高度化し、専門分化が進む傾向となっております。

また、耐震構造等に伴う建築設備の技術力アップはもとより、世界規模の環境保護や人にやさしいまちづくり等、環境、福祉に対する取り組みが今後の建築設備の担う重要な役割として要求されることとなります。

そのため、21世紀の沖縄を支え続けるために、建築設備の設計に当たっては、総合的技術力の習得はもとより、時代に合った最先端技術の吸収が求められているところであります。

さて本県は、個性豊かで文化の薫り高い地域社会の形成を目指し、21世紀を見据えた第三次沖縄振興開発計画に基づき、社会資本の整備をはじめとする諸施策を積極的に推進しているところであります。

土木建築部としましては、平成11年度の建築営繕事業として、九州・沖縄サミット開催に向けての『万国津梁館』の新築、『コンベンションセンター会議棟』の増築、また、平和の発信拠点として位置づけている『平和祈念資料館』等の社会資本施設の整備を進めてまいりました。平成12年度におきましても、『県営天久高層住宅』、『県営平良団地』等の県営住宅をはじめ、『沖縄県総合福祉センター』、『中部合同庁舎福祉保健所棟』等、建設事業の推進を図っていくことにしております。

会員の皆様におかれましては、組織の充実に加えて技術の向上等、研鑽を重ねられ本県の発展にこれまで以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会の限りないご発展と会員各位のますますのご活躍を祈念申し上げ祝辞と致します。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会